

革新的造船技術研究開発支援事業の概要

- 平成28年度から、「革新的造船技術研究開発補助」により、船舶の建造工程の生産性向上に資する革新的な技術開発を促進（事業費の最大1/2を補助）。
- 対象事業者は「大手造船事業者」だけでなく、「中小造船事業者」「船用事業者」「研究機関」等による申請が可能。

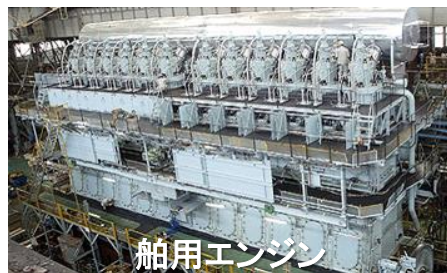
造船工程における直接的な生産性向上が図られる事業

例：AIを活用して溶接工程を自動化



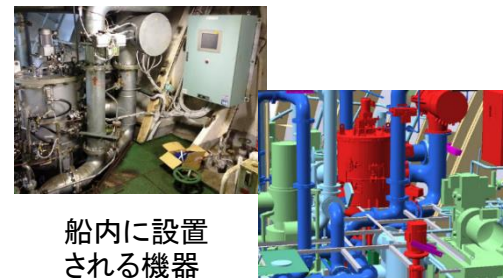
船舶の重要な一部分を構成する、一般市場で調達困難な製品の製造における生産性向上が図られる事業

例：エンジンの製造を効率化して納期を短縮



現存船への追加の機器の設置作業における生産性向上が図られる事業

例：構造を効率的に3Dスキャンして追加機器の設置工事期間を短縮



実績

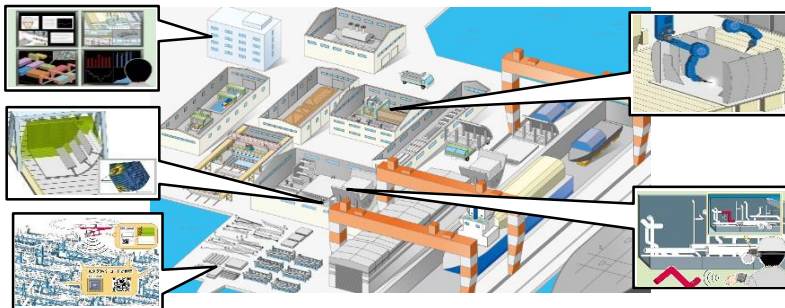
ヒト・モノの一元管理（見える化）
でムダ・ムリ・ムラを排除

レーザ等を活用した部品寸法等の
精度管理で手直工程ゼロ

ICタグ・センサやドローン等を活用した部
材管理で工程管理高度化

平成28年度：4件採択（補助金総額8,968万円）

平成29年度：14件採択（補助金総額3億4,836万円）



3次元図面を基に作業するAI自動溶接ロボットによる溶接作業効率の飛躍的向上

情報端末等を活用した3D図面による組立作業支援で作業効率向上